



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 武田 安夫
 (氏名) 須多 敦子
 配当支払開始予定日

TEL 079-235-6005
 平成24年12月4日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	76,582	△10.0	2,855	△55.2	2,276	△62.1	1,342	△62.3
24年3月期第2四半期	85,106	11.4	6,368	△14.1	6,013	△14.3	3,565	△11.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 407百万円 (△84.6%) 24年3月期第2四半期 2,652百万円 (△3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.32	—
24年3月期第2四半期	22.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	208,731	96,751	46.1
24年3月期	212,364	96,993	45.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 96,288百万円 24年3月期 96,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	4.00	9.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、3月31日(期末日)を基準日とする配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	△18.5	4,300	△62.1	3,500	△68.2	2,100	△67.2	13.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	167,124,036 株	24年3月期	167,124,036 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,781,368 株	24年3月期	5,770,712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	161,350,512 株	24年3月期2Q	161,368,618 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。)

3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）のわが国経済につきましては、東日本大震災からの復興需要や昨年末に再導入されたエコカー補助金の政策効果はあったとされるものの、欧州の債務危機・金融不安およびこれらを背景とする海外経済の減速や歴史的な円高の継続、さらには電力の安定供給への懸念などの影響が大きく、景気は総じて弱含みで推移いたしました。

特殊鋼業界におきましては、自動車業界向けの需要が比較的堅調だったのに対し、建機等その他の分野について、中国をはじめとする新興国経済の急減速や円高の継続に伴う需要減などに加えて在庫調整等の影響もあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の減少および鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下がりなどにより、前年同期比85億24百万円減の765億82百万円となりました。経常利益につきましては、コストダウンの実施にも注力いたしましたが、販売数量の減少、燃料価格の上昇、減価償却費の増加などにより、前年同期比37億36百万円減の22億76百万円となりました。四半期純利益につきましては、上述、経常利益の減少の他、株価の下落により、投資有価証券評価損を計上したことなどにより、前年同期比22億22百万円減の13億42百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

自動車業界向けの需要が比較的堅調だった一方で、建機等その他の分野につきましては、中国をはじめとする新興国経済の急減速などにより厳しい状況で推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の販売数量は前年同期に比べ減少いたしました。これに加えて、鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下がりなどにより、売上高は前年同期比80億43百万円減の705億24百万円となりました。営業利益につきましては、コストダウンの実施にも注力いたしましたが、販売数量の減少、燃料価格の上昇、減価償却費の増加などにより、前年同期比25億48百万円減の30億12百万円となりました。

特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2億4百万円減の29億87百万円、営業利益は前年同期比58百万円増の3億91百万円となりました。

素形材事業

鋼材事業と同様、自動車業界向けの需要が比較的堅調だった一方で、建機等その他の分野につきましては厳しい状況で推移いたしました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比1億92百万円減の80億51百万円となりました。営業利益につきましては素形材事業子会社のコストダウンなどにより、前年同期比4億36百万円増の8億60百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2億36百万円増の7億41百万円、営業利益は前年同期比3百万円増の27百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、有形固定資産が増加したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産の減少などにより、2,087億31百万円（前期末比36億33百万円減）となりました。

負債残高は、支払手形及び買掛金の減少などにより、1,119億79百万円（前期末比33億91百万円減）となりました。

純資産残高は、その他有価証券評価差額金の減少などにより967億51百万円（前期末比2億41百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、欧州の債務危機・金融不安やそれらを背景とする新興国経済の減速などにより、世界同時不況の懸念さえ伝えられるなか、円高基調の継続や電力供給懸念等の不安要素が依然として継続しており、当社グループを取り巻く事業環境はますます厳しさを増すものと考えております。

こうした中、当社グループとしては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した最適生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給出来る事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組む所存ではありますが、前述のような状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、売上高1,400億円、経常利益35億円、当期純利益21億円といたします。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は164百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ110百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,556	18,017
受取手形及び売掛金	61,862	54,032
商品及び製品	11,368	13,179
仕掛品	22,457	20,653
原材料及び貯蔵品	15,297	13,965
その他	3,497	3,479
貸倒引当金	△8	△5
流動資産合計	133,032	123,321
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	36,596	47,248
その他(純額)	29,252	25,125
有形固定資産合計	65,849	72,373
無形固定資産	711	730
投資その他の資産	12,771	12,305
固定資産合計	79,332	85,409
資産合計	212,364	208,731
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,344	13,219
短期借入金	36,134	40,833
未払法人税等	2,456	292
賞与引当金	2,294	2,192
役員賞与引当金	92	—
その他	18,842	17,717
流動負債合計	78,165	74,255
固定負債		
長期借入金	34,569	35,752
退職給付引当金	1,233	1,105
役員退職慰労引当金	57	63
環境対策引当金	294	294
その他	1,051	508
固定負債合計	37,206	37,724
負債合計	115,371	111,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,596	22,596
利益剰余金	54,933	55,630
自己株式	△1,767	△1,770
株主資本合計	95,944	96,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,419	359
為替換算調整勘定	△806	△709
その他の包括利益累計額合計	612	△350
少数株主持分	435	463
純資産合計	96,993	96,751
負債純資産合計	212,364	208,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	85,106	76,582
売上原価	72,464	67,359
売上総利益	12,642	9,222
販売費及び一般管理費	6,274	6,367
営業利益	6,368	2,855
営業外収益		
受取利息	5	22
受取配当金	91	78
その他	162	144
営業外収益合計	259	245
営業外費用		
支払利息	247	381
為替差損	285	294
その他	81	149
営業外費用合計	614	825
経常利益	6,013	2,276
特別利益		
土地売却益	—	17
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	17
特別損失		
投資有価証券評価損	4	856
固定資産除売却損	155	292
特別損失合計	159	1,148
税金等調整前四半期純利益	5,858	1,145
法人税、住民税及び事業税	1,939	247
法人税等調整額	325	△463
法人税等合計	2,264	△216
少数株主損益調整前四半期純利益	3,593	1,361
少数株主利益	28	18
四半期純利益	3,565	1,342

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,593	1,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△929	△1,059
為替換算調整勘定	△6	96
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	9
その他の包括利益合計	△941	△953
四半期包括利益	2,652	407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,623	379
少数株主に係る四半期包括利益	28	27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	73,624	3,192	8,243	85,060	46	85,106	—	85,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,943	—	—	4,943	459	5,402	△5,402	—
計	78,567	3,192	8,243	90,003	505	90,509	△5,402	85,106
セグメント利益	5,560	332	424	6,317	23	6,340	27	6,368

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益の調整額27百万円は、棚卸資産の調整額21百万円、セグメント間取引消去20百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,476	2,987	8,051	76,516	66	76,582	—	76,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,047	—	—	5,047	675	5,723	△5,723	—
計	70,524	2,987	8,051	81,563	741	82,305	△5,723	76,582
セグメント利益	3,012	391	860	4,263	27	4,291	△1,435	2,855

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△1,435百万円は、棚卸資産の調整額△1,453百万円およびセグメント間取引消去17百万円であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「鋼材」事業のセグメント利益が、109百万円増加しております。

なお、「鋼材」事業以外の報告セグメントにおけるセグメント利益に与える影響は、軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

平成25年3月期 第2四半期決算発表

1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	通期	前期	増減額	増減率
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上高	76,582	85,106	△8,524	△10.0	140,000	171,800	△31,800	△18.5
営業利益	2,855	6,368	△3,512	△55.2	4,300	11,348	△7,048	△62.1
経常利益 (ROS)	2,276 (3.0)	6,013 (7.1)	△3,736 (△4.1)	△62.1	3,500 (2.5)	10,995 (6.4)	△7,495 (△3.9)	△68.2
当期純利益	1,342	3,565	△2,222	△62.3	2,100	6,407	△4,307	△67.2
設備投資	12,154	6,552	5,601	85.5	15,000	18,212	△3,212	△17.6
減価償却費	5,432	4,782	649	13.6	12,000	10,926	1,073	9.8
棚卸資産評価損影響	△263	69	△332	—	—	△228	228	—
〃 を除く経常利益	2,539	5,943	△3,403	△57.3	3,500	11,223	△7,723	△68.8

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	24年3月期					25年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期
売上高	42,244	42,862	44,435	42,258	171,800	40,239	36,342
営業利益	3,420	2,948	3,199	1,781	11,348	2,288	567
経常利益 (ROS)	3,335 (7.9)	2,677 (6.2)	3,185 (7.2)	1,797 (4.3)	10,995 (6.4)	2,057 (5.1)	218 (0.6)
当期純利益	2,007	1,557	1,744	1,098	6,407	754	588

2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	34	1. 販売数量・価格・構成	48
2. 変動費のコストダウン	6	2. 固定費の増加	4
		3. 棚卸資産評価損	3
		4. 原価現出差異	15
		5. その他	7
計 (A)	40	計 (B)	77
		差引 (A) - (B)	△37